

# 薬剤部だより No.233

山口大学病院薬剤部 2009.6.16



## 後発抗がん剤の使用促進にご協力下さい

抗がん剤の購入金額が図1のように年々増加しております。このまま推移しますと他の医薬品の購入に支障が生じるおそれがあります。

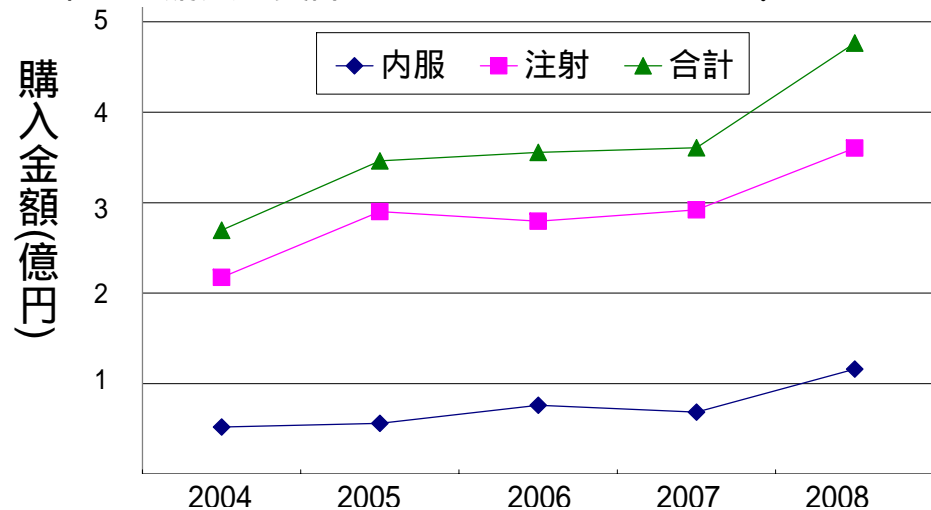


図1. 抗がん剤購入金額

後発抗がん剤使用率(使用本数)は図2のように先発品に対してかなり低くなっています。後発品は、従来品と生物学的、製剤学的に同等と考えられます。特に、カルボプラチンは、原薬と注射用水のみの製剤で添加物が使用されていないため先発品と変わりません。使用促進にご協力下さい。なお、後発品の1Vあたりの薬価は、先発品に比べ、パクリタキセル 100mg、30mg でそれぞれ約 11,000 円、3,500 円、カルボプラチン 450mg、150mg、50mg でそれぞれ約 14,000 円、5,000 円、1,000 円、エビシリン塩酸塩 10mg で約 2,000 円割安になります。

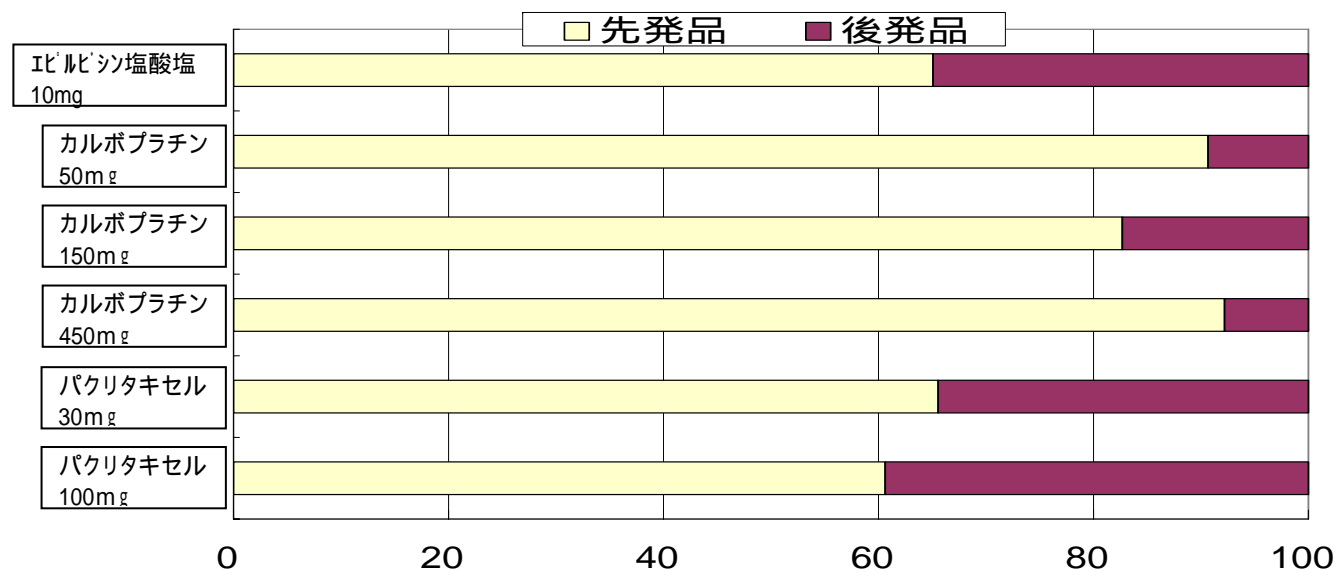


図2. 後発抗がん剤使用率(%)

## 散剤分包機、新たに1台導入

インフルエンザ対策として、散剤分包機が新しく1台導入されました。これまでの分包機と違い、今回の機種は薬品名その他、1回量も印字されますので錠剤粉碎処方において問題となっていました、規格と1回量の勘違いによるインシデントの発生も抑制できます。病院長を始め更新にご尽力頂きました関係各位に感謝申し上げます。なお、旧分包機も同様の印字方式に切り替え、6月22日頃から運用を開始する予定です。

6/22 定期 077 Rp07 薬袋 07  
 山大 太郎 様  
 夕食後  
 セロケン錠 20mg 1T  
 新たに印字される

## 外来抗癌剤プロトコルの様式変更

薬剤部だよりNo.232でお知らせしましたように、次期システムから外来化学療法はレジメンオーダを使用することになっています。これに伴い、薬剤部へ提出される外来化学療法プロトコルの様式がレジメン審査委員会に提出する「抗悪性腫瘍薬レジメン登録兼治療計画票」(右図)に変わります。新たな患者さんに使用される場合は、この様式をお願いします。



## マイコスポール®液、供給再開及び包装変更

2007年11月にマイコスポール®液は内容液着色による自主回収のため、一時オーダ中止となっていました。容器の材質等の変更により供給が再度可能となりました。なお、容器の材質がPET(ポリエチレンテレフタレート)からガラスに、中栓がプッシュ式(押し付けて出すタイプ)からドロップ式(自然滴下されるタイプ)に変更されます。

## 抗がん剤の混注依頼についてのお願い

製剤室では、細菌汚染防止及び抗がん剤の安定性確保(特に安定性の悪い薬剤としてラステット、イホマイド)のため、投与開始直前の混注に努めています。しかし、土日祝日は製剤室に薬剤師がいないため、混注ができません。休日処方に「製剤室にて混注」のコメントがある場合は、右の注意書きを添付しますので病棟での対応をお願いします。

申し訳ありませんが、休日の「製剤室にて混注」はできません。病棟にてお願いいたします。